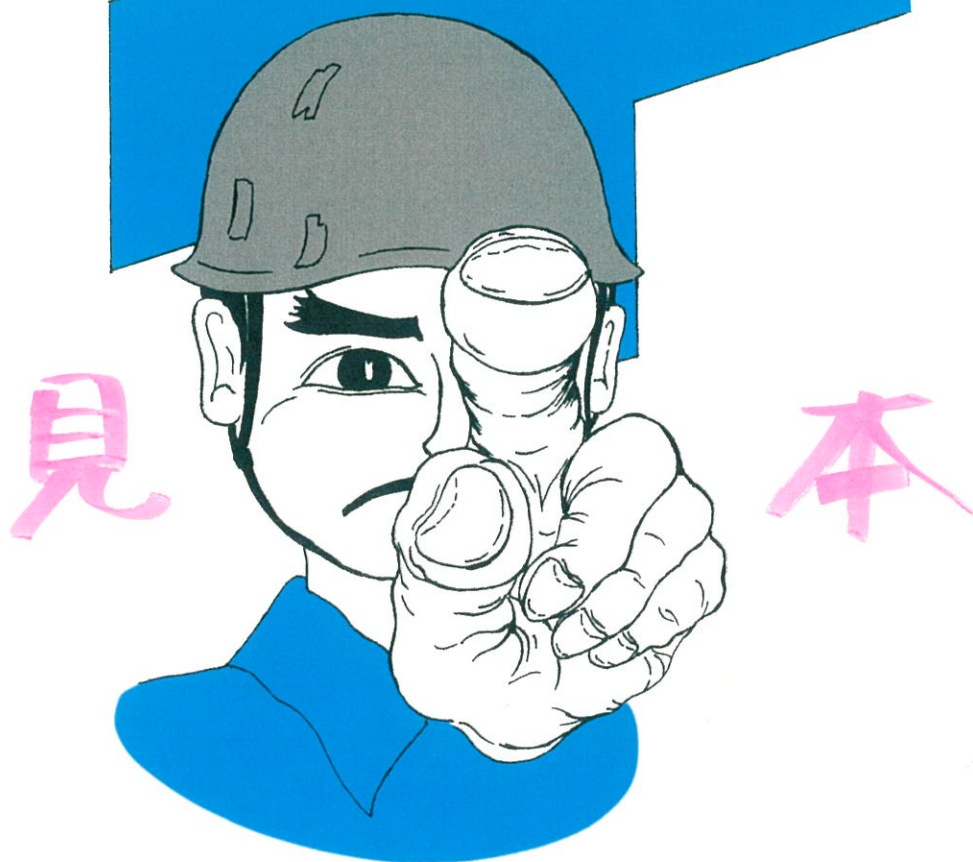


見本

# 船員の多発災害を防ぐには

— その傾向と防止対策 —

(改訂版)



船員災害防止協会

## 目 次

### 1. 近年における船員災害の発生状況

#### 1-1 船員災害の発生状況

横ばいの兆候が見られる船員災害…………… 1

#### 1-2 災害が多発している作業

商船や作業船等と漁船では災害多発作業に違いがある… 2

#### 1-3 災害が多発している態様

災害の半数は「転倒」「動作の反動・無理な動作」  
および「はさまれ」…………… 3

#### 1-4 死亡災害

死亡災害の4分の3は「海中転落」および「海難」…… 4

#### 1-5 海中転落死

海中に転落すると3人に2人が死亡、職務外での  
海中転落が2割…………… 5

### 2. 災害防止対策の基本について

2-1 安全を確保していく上での様々な人の弱点…………… 6

2-2 人の注意力…………… 6

2-3 安全に対する会社の考え方と方針の明示…………… 7

2-4 安全を先取りする災害防止対策…………… 7

### 3. 多発する災害の防止対策

3-1 多発している災害の態様…………… 8

3-2 「転倒」「動作の反動・無理な動作」  
および「はさまれ」の一般的な防止対策…………… 8

3-3 「転倒」の防止対策……………12

3-4 「はさまれ」の防止対策……………14

3-5 「動作の反動・無理な動作」の防止対策……………15

3-6 「海中転落」の傾向と防止対策……………16

## 資 料

[I] 船内における船員災害防止措置の実態……………17

1. 訪船指導による実態調査……………17

2. 調査項目の不良率が高い船種……………18

3. 保護具・検知器具の整備状況……………19

第1表 不良率が高い調査項目の船種……………21

第2表 特定船種の主要な調査項目の不良率……………22

第3表 主要な保護具・検知器の船種別整備状況……………23

[II] 近年における船員災害の傾向と特性……………24

第1表 船員災害集計件数……………24

第2表 作業別災害発生構成比……………24

第3表 主要な災害態様別の延千人率……………25

第4表 職務上災害の休業日数構成比……………25

第5表 海中転落の作業別発生状況……………26

第6表 多発災害の発生場所ワースト5……………26

第7表 死亡災害の職務上と職務外の人数・延千人率……………27

第8表 態様別死亡災害の発生状況……………27

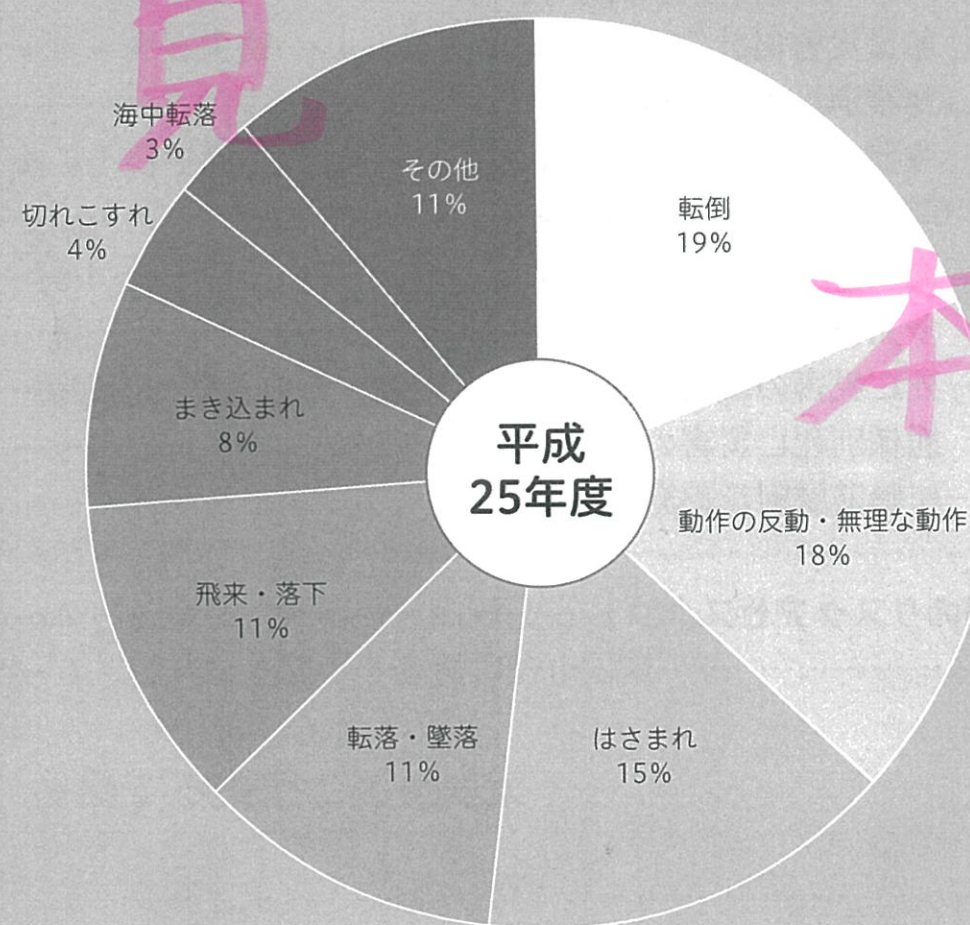
第9表 年齢階層別災害発生構成比……………27

[III] 職場のリスクアセスメント……………28



# 横ばいの兆候が見られる船員災害

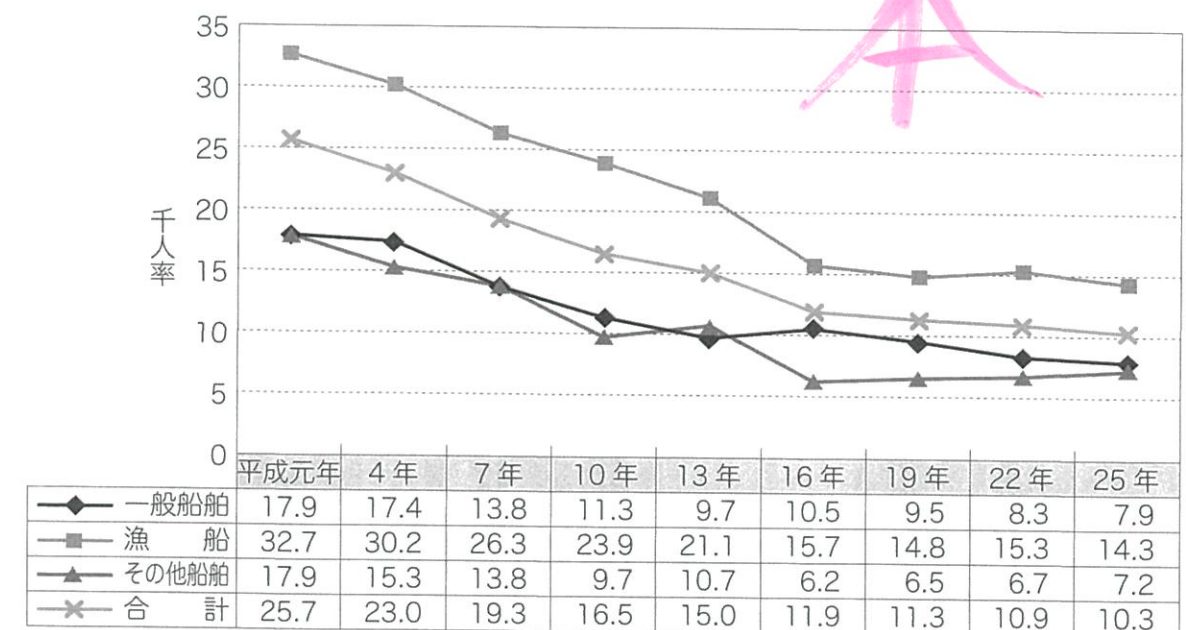
## 1. 近年における船員災害の発生状況



船員の死傷災害（以下、災害といいます。）は、右肩下がりに減少してきましたが、近年、横ばいの兆候が見られます。

平成25年度の災害発生率（年千人率）は、一般船舶7.9、漁船14.3、その他船舶（官公庁船、曳船、引船、ガット船等）7.2、合計10.3であり、10年前の平成15年度と比較すると、一般船舶78%、漁船は87%、その他船舶は90%、合計で82%の千人率に低下していますが、その前の10年間の千人率の減少の一般船舶65%、漁船56%、その他船舶56%、合計で58%に比べると減少傾向が低下しています。

船員災害発生率の推移



### ▶ 船員の死傷災害及び疾病の発生率（年千人率）

乗組員千人当たりの死傷災害及び疾病（休業3日以上）の年間発生人数で示し、年千人率といいます。